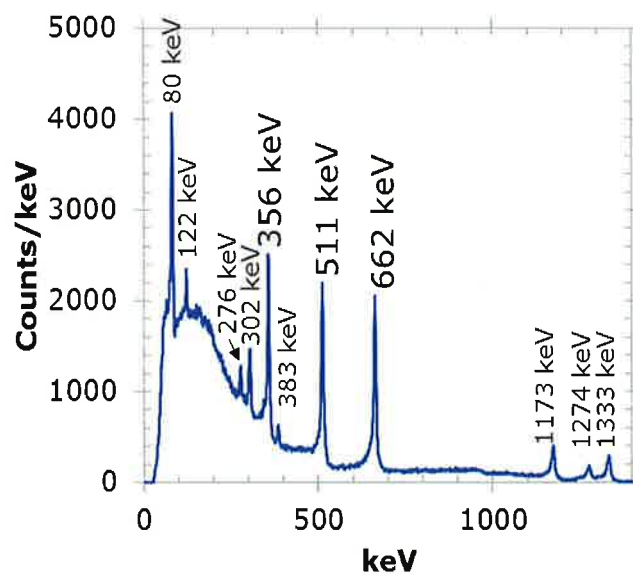
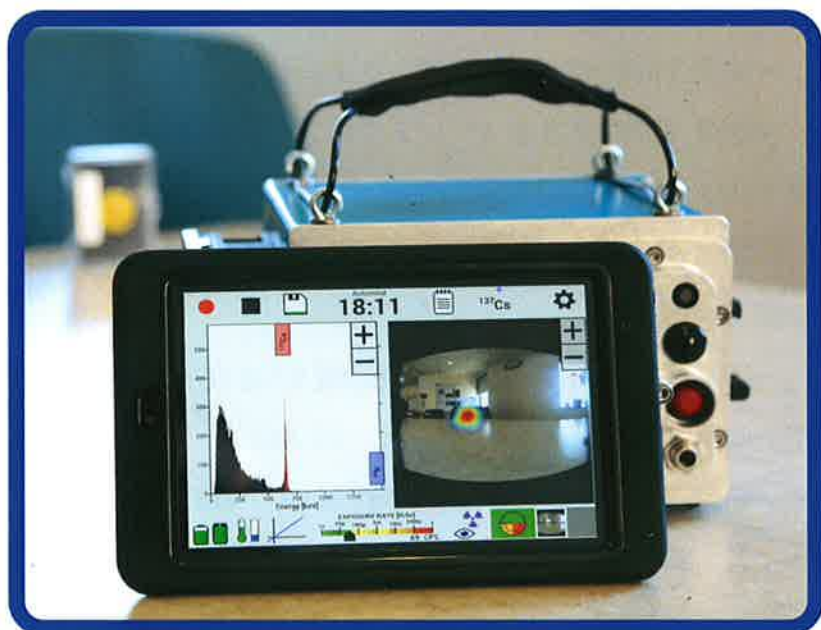


Polaris-HはCZT (CdZnTe) ディテクターを採用した画期的なガンマ線カメラ・スペクトルメーターです。

ガンマ線の核種を特定すると同時に核種毎の線源の位置を画像上に表示し、その強度（フォトンカウント）をグラフ表示します。

重量は約4kgと大変軽量の上、バッテリーによるオペレーション（最大5時間）が可能ですので、原子力発電所での各種メンテナンス作業に最適です。



特徴

- 小型、軽量で持ち運びに便利
- タッチパネルによる簡単操作
- CZT (CdZnTe) ディテクターの採用により高感度測定を実現
- 高エネルギー分解能 <math>< 1.1\% \text{ FWHM}</math> (662keV)



仕様

本体外形寸法：21 x 19 x 13cm

本体重量：約4kg

バッテリー寿命：約5時間

電源：100~240V, 47~63Hz

動作温度範囲：5~38℃

保管温度範囲：-7~49℃

IPコード(外郭による保護等級)：IP65

エネルギー分解能：<1.1% FWHM (662keV)

測定視野範囲(光学カメラ)：~2π(179度)

測定視野範囲(ガンマ線カメラ)：4π(360度)

角度分解能：~30度 FWHM 全方位(リアルタイム)

~20度 FWHM 全方位(ソフトウェアによる後処理)

感度(スペクトルメーター)：

~30nSv/hrのCs137を1分以下で検知

感度(ガンマ線カメラ)：

~30nSv/hrのCs137の放射線源位置を5分以下で特定

測定エネルギー範囲(スペクトルメーター)：50 keV~3 MeV

測定エネルギー範囲(ガンマ線カメラ)：250 keV~3 MeV

CdZnTe結晶サイズ：20 x 20 x 15mm

測定環境レベル：自然放射(バックグラウンド)~5mSv/hr

核種ライブラリー：ユーザーによる登録(無制限)

